

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	上部尿路上皮がん術後の膀胱再発病変に対する BCG 膀胱注入療法の治療成績の検討		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2021 年 6 月 30 日		
③ 対象患者	④の対象期間中に当院で上部尿路上皮がんによる治療を受けられた患者さん		
④ 対象期間	1995 年 10 月 01 日 から 2016 年 4 月 30 日 追跡期間：1995 年 10 月 1 日から 2017 年 5 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	泌尿器科		
⑦ 研究責任者	氏名	松山 豪泰	所属 泌尿器科
⑧ 使用する情報等	カルテに記載された下記の情報 (年齢・性別・身長・体重・既往歴・合併症・疾患名・上部尿路上皮がんに対する手術名・治療内容・診療経過・身体所見・血液検査結果・画像ならびに病理診断検査結果)		
⑨ 研究の概要	上部尿路上皮がんとは腎盂・尿管に発生する尿路上皮がんの総称です。その発生頻度は人口10万人あたり 男性0.1人, 女性0.1人程度とまれな悪性疾患であり, 世界的にも実施された試験は少なく, これまで十分なエビデンスに基づいた治療戦略がありません。本研究では, 上部尿路上皮がん術後の膀胱再発病変に対する BCG 膀胱注入療法の治療成績を解析します。それにより, 生存率の向上および全生存期間の延長が期待できると考えられます。なお, ⑧のデータは当院で匿名化し, 主研究施設である奈良県立医科大学に送付します。		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2017 年 9 月 19 日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	奈良県立医科大学 泌尿器科に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	奈良県立医科大学講座研究費を使用します。		

⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 泌尿器科 担当者：松本 洋明		
	電話	0836-22-275	FAX

別添

## 研究組織

## 研究代表者

奈良県立医科大学泌尿器科学 三宅 牧人

## 研究参加施設と研究責任者

大阪医科大学附属病院	東 治人
島根大学医学部附属病院	椎名 浩昭
山口大学医学部	松山 豪泰
高知大学医学部	井上 啓史
鹿児島大学医学部	榎田 英樹

## 奈良泌尿器疾患治療研究グループ（19 施設）

大阪回生病院	田中 雅博
多根総合病院	林 美樹
星ヶ丘医療センター	百瀬 均
奈良県総合医療センター	三馬 省二
奈良県西和医療センター	大山 信雄
南奈良総合医療センター	壬生 寿一
近畿大学医学部奈良病院	平山 暁秀
市立奈良病院	岡島 英二郎
大和高田市立病院	仲川 嘉紀
宇陀市立病院	夏目 修
済生会奈良病院	熊本 廣実
済生会中和病院	千原 良友
大和郡山病院	松村 善昭
国保中央病院	吉井 将人
高の原中央病院	辻本 賀洋
岡波総合病院	藤本 健
松阪中央総合病院	雄谷 剛士
西奈良中央病院	永吉 純一
高井病院	原本 順規

## 山口ウロオンコロジーグループ（18 施設） 研究責任者 松山 豪泰

小倉記念病院	城嶋 和孝
済生会下関総合病院	高井 公雄
下関市立中央病院	吉弘 悟
関門医療センター	鄭 泰秀

下関厚生病院	山口 史朗
下関市立済生会豊浦病院泌尿器科	上領 頼啓
山陽小野田市立小野田市民病院	瀧原 博史
宇部興産中央病院	島袋 智之
小郡第一総合病院	橋本 治
済生会山口総合病院	城甲 啓治
山口赤十字病院	須賀 昭信
都志見病院	石津 和彦
山口県立総合医療センター	山本 光孝
徳山中央病院	那須 誉人
周南市立新南陽市民病院	小西 基彦
光市立総合病院	井本 勝彦
周東総合病院	馬場 良和
益田赤十字病院	青木 明彦